

産業カウンセリングⅡ	単位数	履修方法	配当年次
	1	S	2年以上
科目コード	FG3681	担当教員	末富 美貴ほか

■スクーリングで学んでほしいこと

産業カウンセラーとして業務に携わる際には、面接記録を記入し、管理しなければならない。その知識と、産業カウンセラーとしての研鑽方法としての、逐語検討、事例検討を実践的に学ぶ。実際に業務に携わる際に産業カウンセラーとしての倫理を認識する。

■到達目標

- 1) 逐語記録や事例検討の意義を理解し、作成できる。
- 2) 事例検討を通じ、ニーズを把握し目標を立てられる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	面接記録の作成①	面接メモ・記録の作成
2	面接記録の作成②	面接メモ・記録の留意点
3	面接記録の作成③	逐語検討
4	事例検討①	公開事例よりアセスメント力を高める①
5	事例検討②	公開事例よりアセスメント力を高める②
6	産業カウンセラー倫理綱領について①	倫理綱領の意味
7	産業カウンセラー倫理綱領について②	配慮義務
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。教科書も適宜使用します。途中、グループワークを行い理解を深めていただきます。

■スクーリング評価の基準

授業への参加態度 20% + スクーリング試験 80% (指定テキスト・配付物・自筆ノート持込可)

■スクーリング時の教科書

日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング (産業カウンセラー養成講座テキスト)』日本産業カウンセラー協会, 2013年 第2章 第16章

■履修登録条件

この科目は、「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録している方、または同時に履修登録する方のみ履修登録が可能です。

■スクーリング事前学習

テキスト第2章 産業カウンセラーの倫理 p.27～p.38

テキスト第16章 面接の記録と検討 p.495～p.513

テキスト資料 産業カウンセラー倫理要領 p.514～p.523 を一読していただくこと。

※「カウンセリングⅠ」「産業カウンセリングⅠ」スクーリングを受講していることが望ましい。

■スクーリング事後学習

産業界だけでなく様々な事例を読みアセスメント力をつけていってください。